

国語

第1問

次の文章を読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。

（朴沙羅^{はくさらか}「欧州季評」『朝日新聞』令和五年十月十二日による。ただし、一部改変してある。）

問1 傍線部アゝオの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問2 二重傍線部「自明」と同じ熟語の構成となっているものを、次のアゝクの中から全て選び、記号で答えよ。

ア 国連 イ 暗示 ウ 耐熱 エ 未完 オ 哀歓 カ 基礎 キ 深海 ク 日没

問3 空欄 A・B に共通して入る最も適当な語を、次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア つまり イ しかし ウ むしろ エ だから オ そして

問4 「お茶を I」は、「いいかげんにその場をごまかす」という慣用表現である。空欄 I に入る語を平仮名三字で答えよ。

問5 空欄 II に入る最も適当な語を、次のアゝオの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 意識 イ 前提 ウ 知識 エ 歴史 オ 対象

問6 傍線部1「いまの振り袖や訪問着のような着物をもって『伝統』と言おうものなら、服飾史学者にため息をつかれるだろう。」とあるが、それはなぜか、説明せよ。

問7 傍線部2「私は、私に『日本のお正月』について質問する人と、何も違わない。」とあるが、何と何のどういう点が違わないのか、説明せよ。

問8 傍線部3「その現象」が指す内容を文中から七十字以内で抜き出し、そのはじめと終わりの五字で答えよ。(ただし、句読点や符号も一字とする。)

第2問

次の文章を読んで、後の問い（問1～問8）に答えよ。

（養老孟司「学ふということ」『學鐙』による。ただし、一部改変してある。）

問1 傍線部ア～オの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に書き改めよ。

問2 二重傍線部「孟母□遷」は「子どもの教育には、環境を選ぶことが大切であるという教え」を意味する故事成語である。□に入る漢数字を、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 百 イ 九 ウ 七 エ 三 オ 十

問3 空欄 A・B に入る最も適当な語を、次のア～キの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

ア ところが イ 例えば ウ すると エ または オ つまり カ そして キ だから

問4 傍線部1「それ」は何を指すか、文中の語を用いて答えよ。

問5 傍線部2「一度は試みる価値があるう。」とあるが、筆者はなぜそう思うのか、説明せよ。

問6 傍線部3「いったん出来上がってしまった社会システムの慣性」とあるが、それはどういうことか、説明せよ。

問7 傍線部4「私自身は解剖学を専攻したが、これは幸運であったとつくづく思う。」とあるが、筆者はなぜそう思うのか、説明せよ。

問8 傍線部5「人生の基礎から考える」とあるが、それはどういうことか、文中の語を用いて五十字以内で説明せよ。
(ただし、句読点や符号も一字とする。)